

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

1. (仮称) 地域交流スクエア棟の構成

(仮称) 地域交流スクエア棟においては、主に以下の諸室を想定し、概ね3,500㎡程度の建築物とし、休館日や災害時・平時・イベント時など様々な局面において柔軟な活用が可能な空間構成に配慮すること。

| 分類 | | 主要諸室 | |
|----------|-----------|---|--------------|
| 地域交流センター | アリーナ | ・ホール・アリーナ、舞台・舞台袖、ピアノ庫、器具庫・舞台備品庫・器具庫（アリーナ）・倉庫（アリーナ）、倉庫（ホワイエ）、調整室、ホワイエ、脱衣・更衣・シャワー室 ※3 | |
| | その他 | ・トイレ、倉庫等 | |
| 児童館 | 児童館 | ・遊戯室※2、集会室、図書・パソコンコーナー、創作活動室、食育活動室※1、相談室、乳幼児室、授乳室※2等 | |
| | その他 | ・トイレ、倉庫、洗濯スペース等 | |
| 短期大学 | 地域子育て支援拠点 | ・親子交流広場（くららっこ）、倉庫（くららっこ）、倉庫（調理） | |
| 共用部 | 管理諸室 | ・事務所、中央監視室※4、清掃員控室 | |
| | その他 | エントランス・ロビー | ・風除室、ロビー |
| | | その他 | ・電気室、機械室、駐輪場 |

※1 児童館の食育活動室を短期大学の「調理実習室」と共用とし、児童館休館日に児童館専用部分を介さずに利用することが出来るようにゾーニングすること。

※2 児童館とその他の部分は明確に区分するものの、児童館休館日・閉館時間に児童館専用部分を介さずにスポーツ活動が可能なゾーニングとすること。

※3 平時は、スポーツ利用者向け利用とするが、イベント時等の出演者の利用も可能とするゾーニングとすること。

※4 市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、駐車場及び当該（仮称）地域交流スクエア棟の中央監視室とすること。

2. 施設全体の要求水準

(仮称) 地域交流スクエア棟の施設計画内容は、次のとおりである。

| ■施設全体 | |
|-------|---|
| 建築 | |
| 外観計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺との調和に配慮するとともに、地域のランドマークとなる形態意匠とすること。公園と(仮称)倉敷ファッションセンター棟を含めた再編整備施設全体で一体性のある外観計画とすること。 ・窓・建具の設置にあたっては隣接建物、公園との視線の交錯に配慮すること。 ・建物デザインは、温室効果ガス削減や機能性を重視したデザインとすること。 ・「倉敷市公共事業景観ガイドライン」の景観重点公共事業として所定の検討を行い、外観計画等に反映すること。倉敷市都市景観審議会資料の作成を行うこと。 |
| 配置計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟(本校舎)と(仮称)地域交流スクエア棟は別棟とする。両者は原則、可分の関係である。 ・雨天時等でも、市立短期大学棟(本校舎)と(仮称)地域交流スクエア棟の間を円滑に行き来できるよう計画すること。 ・敷地西側に配置すること。具体的な配置位置は【別添資料12】モデルプラン(配置)を参考にすること。ただし、自由な提案を妨げるものではない。 ・公園の日照確保に配慮した計画とすること。 ・龍王山への眺望を考慮し、民話通りの延長線の空間を確保すること。原則として、景観を損ねる建築は行わないこと。 ・市立短期大学棟(本校舎)と(仮称)地域交流スクエア棟、(仮称)倉敷ファッションセンター棟、児島公園の相互利用が促進される、一体的な施設配置計画とすること。公園と一体的に整備する計画であることを理解した上で、安全で分かりやすい施設配置とすること。避難誘導や救助活動が容易に行えるよう配慮すること。 ・北側及び東側の地域住民の生活環境、及び周辺事業者の事業環境に十分に配慮を行い、プライバシー保護や騒音、排気対策、景観に配慮すること。 ・児島フェス井せんいさい等のイベント時の活用が期待できる計画とすること。 |

| | |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児島公園と一体的な活用が期待できる計画とすること。 |
| 外部動線計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設を利用する歩行者の動線と自動車動線の分離に努めること。 ・ 各施設利用者動線とサービス動線等は明確に区分し、適切な動線計画を行うこと。 ・ 障がい者や高齢者等の快適かつ安全な移動に配慮すること。 ・ 児島駅、駐車場（近隣駐車場含む）、近隣公共交通機関からの来館者が容易に理解し、円滑にアプローチできるよう配慮し、適切な位置に出入口を設置すること。 ・ 各施設の休館時に他の施設の利用に不便が生じない計画とすること。 ・ 大道具等の適切な搬入動線を確保し、十分な搬入スペースを計画すること。 ・ 駐輪場の動線も、安全に配慮すること。 ・ 歩道の切り下げや舗装の現況復旧、埋設管の敷設等、道路に係る整備に関して、関係諸機関との協議に基づいて行うこと（敷地外工事を含む）。 |
| 建物内動線計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の利便性、バリアフリー化、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）を考慮した内部動線とすること。 ・ 各施設の利用者が迷うことなく円滑に利用にできる内部動線となるよう配慮すること。 ・ 利便性を考慮し、適切な台数のエレベーターを設置すること。また、乗員数に応じたホールを備えること。 ・ ホール利用者空間と児童館空間を明確に区分する等、動線のすみ分けに配慮すること。 ・ イベント開催時等の利用者、出演者の動線は明確に、かつ、不必要に交錯しないように計画すること。 ・ 各施設の休閉館時に他の施設の利用に不便が生じない計画とすること。 |
| 平面計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本施設を構成する各諸室の使用状況及びセキュリティ区分を踏まえたゾーニングとすること。 ・ 諸室の配置及び面積については、諸室要求水準及び「別表02」を基準とし、使用目的や機能に応じた最適な計画とすること。 ・ 平面計画に当たっては、施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確 |

| | |
|------|---|
| | <p>保、遮音性能などを考慮すること。なお、平面構成の検討材料として【別添資料13】モデルプラン（市立短期大学棟（本校舎）・（仮称）地域交流スクエア棟）を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の間仕切り変更や部屋の用途変更、改修工事の容易性などを考慮すること。 ・廊下、ホール、ホワイエ等は障がい者等の利用や緊急時の往来、イベント開催時の入館者溜まり等に配慮した幅員・面積等とすること。 ・公園からの騒音に配慮した計画とすること。 ・アリーナ、児童館、それぞれの施設の利用時の音や振動が、他の施設に大きな影響をおよぼさない計画とすること。外部への音の漏れだしにも適切に配慮すること。 ・児童館及びアリーナは上履き利用とする。 ・児童館部分は時間的にも物理的にも明確に区分できる計画とすること。 ・アリーナ及び舞台は器具、大道具の搬出入・移動がスムーズに行えるように計画し、必要に応じて昇降機などの採用も検討すること。 ・それぞれの施設に共通する電気室や機械室については、系統を施設別に区分し、共通の諸室としてよいものとする。 ・屋内、屋外ともに1か所以上、手洗い場（幼児から大人まで使用）を整備すること。 ・事業者の創意工夫により、交流促進や、来館者のくつろぎの場、ゆとりある空間確保などの提案を期待する。 |
| 断面計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・1階床高さは標高2.8m以上とすること。 ・各諸室の天井高さを適切に確保した上で、建物全体としてはなるべく高さを押さえた計画とし、近隣への圧迫感の低減に努めること。 ・断面計画に当たっては、施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確保、遮音性能などを考慮すること。 |
| 仕上計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震時の剥落、落下による二次災害抑制に配慮した内外装材とすること。 ・外装等の仕上は構造躯体の保護や経年劣化による意匠性を考慮すること。 ・外装材について、鳥類、鼠族及び昆虫の侵入並びにそれらの |

| | |
|---------|---|
| | <p>住着きを防ぐ構造とすること。また、植栽の影響を受けにくい、材料・構造とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装材、外装材、建具等について、耐久性が高く、調達が容易な汎用品の採用に努めること。 ・内装仕上材は、諸室の用途、利用内容や形態など各室の特性に配慮したものとする。 ・仕上材は、長寿命で耐久性に優れ、かつ、清掃・補修等がしやすいなど維持管理が容易なものを選定すること。 ・施設利用者が利用する場所に用いるガラスは原則、強化ガラスとすること。 ・木質化に努め、岡山県産材を積極的に使用すること。 ・外部に面する窓には原則、網戸を設けること。 ・窓に設けるカーテン、ブラインド等は別表による。 ・暗幕を設ける部屋は光漏れに注意し、必要に応じて、窓以外の開口部にも遮光の措置がとれるようにすること。 ・施設修繕時及び解体時に環境汚染を引き起こさない内外装材を選定すること。 ・危険な凹凸を避ける、怪我をしない素材を使用するなど、利用者の安全性に配慮すること。また、乳幼児の利用が想定される部屋ではアール加工とするなど、特に留意すること。 ・各室の用途・機能に応じて形状や断熱、吸音、遮音材を十分検討して採用すること。 ・使用する材料（建築資材等）は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質の削減に配慮したものとする。 <p>諸室の揮発性有機化合物の室内濃度は、厚生労働省が定める指針値以下とする。</p> |
| 安全・防犯計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・出入口、重要諸室（事務室、中央監視室等）、開放エリアといったセキュリティの設定を行った上で区画を明確にした計画とすること。 ・視認性の確保や死角をなくすことに配慮し、施設利用者の安全に配慮した施設とすること。 ・不審者対策を講じること。 ・建屋廻りには適切に外灯等配置し、夜間の安全にも配慮した計画とすること。 ・バルコニー、屋外階段等を設ける場合は、落下防止に配慮すること。 |

| | |
|------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・室内の機器や備品等は地震の振動により転倒しないよう適切に設置すること。 ・避難誘導のためのサインを適切に計画すること。 ・計画上必要とする箇所にカード認証等による開錠システムを設置すること。詳細は入退室管理設備の項による。 ・カメラ設備については、「防犯カメラ設備」の項による。 ・共用する諸室において、様々な局面において柔軟な活用が可能となるよう、キープランも含めて対策を行うこと。 ・施錠が必要となる施設設備は、本市が今後決定する維持管理・運営方針に基づく施錠計画とすること。 |
| 防災計画・BCP | <ul style="list-style-type: none"> ・火災等の災害時には、容易かつ安全に避難することができる建物とし、特に障がい者等の自力で避難が困難な利用者（要介助者等）には十分に配慮すること。 ・建物内外について災害時の避難動線を確保し利用者の安全を守るとともに、緊急車両の動線や寄り付きにも配慮すること。 ・地形、地質、気象等の自然的条件による災害を防ぐため、建築構造部材、非構造部材、設備機器等の総合的な安全性の確保に配慮すること。 ・洪水ハザードマップ等を踏まえ災害発生時にも建物機能を維持できるよう配慮すること。特にライフラインの確保に配慮すること。 ・インフラ途絶時も電力供給に耐えうるものとする。 |
| ユニバーサルデザイン | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れ、全ての利用者が円滑かつ快適に利用できる施設を実現すること。 ・「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」や「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「都市公園の移動円滑化ガイドライン」等を遵守し、「建築物移動等円滑化誘導基準」に適合させること。 |
| 環境配慮計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ基準については、倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針の「目標基準」以上の性能（ZEB-Ready以上の認証を得られる建物性能）の確保が確認できる計画とすること。 ・再生可能エネルギー（太陽光発電設備）の導入については、倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づいて最大限の導入に努めること。 |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づくゼロカーボン技術項目の導入に努めること。 ・クールらしきアクションプランの啓発効果も念頭に、来校者へのアピールにも配慮すること。 ・周辺地域に対して日光の反射や、設備機器等から日常的に発生する騒音、振動、排気ガスなどをできるだけ低減できるよう配慮すること。 |
| 維持管理計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物の長寿命化に配慮し、ライフサイクルコスト低減効果の高い建物とすること。 ・建物の冷暖房負荷の低減を図り、電気、ガス、水道等の水光熱費の抑制に配慮すること。 ・行政ニーズの変化や将来の情報通信技術等への対応にも配慮すること。 ・設備更新や維持管理を容易に行うことができるよう配慮すること。 |
| 外構計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・別紙4「外構施設計画要領」を参照すること。 |
| サイン計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や子ども、高齢者、外国人など全ての人に配慮したユニバーサルなサインとすること。 ・わかりやすく、視認性に優れたサインとすること。 ・将来において、諸室の配置が変更となった場合にも容易に対応可能なサインとすること。 ・外部からも容易に視認できる位置に館名サインを設置する。 ・現在地及び各施設の出入り口位置及び施設名や、施設の総合案内、階平面、室名等が容易に分かるよう、適切に内外部のサインを設置すること。 ・エントランスには施設案内を設けること。 ・外部サイン(字体等を含む)のデザインは、敷地内及び周辺地域の景観に配慮したものとし、複合施設全体で統一されたデザインとすること。 ・必要に応じて、サインは多言語対応とすること。 ・必要に応じて、JIS規格に準拠したピクトサインを活用したものとすること。 |
| 昇降機設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童館、アリーナそれぞれに必要な台数を確保するとともに、ストレッチャーや什器類の搬入等にも配慮すること。 ・高齢者、車椅子使用者に対応すること。 ・警報装置を設置すること。 |

| | |
|-------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地震管制、火災管制、停電時自動着床機能を有すること。 ・省エネ機能の採用に努めること。 ・開口部より中が視認できる構造とすること。 ・アリーナ廻りの搬出入・移動用の昇降機は提案による。 |
| 構造 | |
| 耐震性能 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで多数のものが利用する施設であり、避難所・避難場所の指定が可能な性能を確保すること。 ・施設の耐震安全性の分類は、「官庁施設の総合耐震・津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）」に基づき、次の基準以上とすること。（表2. 1. 1の（七）） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 構造体の耐震安全性：Ⅱ類 ➤ 非構造部材の耐震安全性：A類 ➤ 設備の耐震安全性：乙類 ・非構造部材、手すり、建具、屋外広告物についても安全性を確認すること。 |
| 耐久性能 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造の場合、建築工事標準仕様書／同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）に定める耐久性能「標準（計画供用期間おおよそ65年）」を確保すること。 ・鉄骨部も、鉄筋コンクリート造の場合と同等の耐久性能を確保するものとし、防錆等の適切な措置を施すこと。 ・主要構造材、二次部材等について、海岸近くに立地することを考慮し、必要に応じて適切な対策を講じること。また、設備機器等についても、同様に配慮すること。 |
| 設備全般 | |
| 一般事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備方式、機器選定、各設備配管配線、施工にあたっては、耐久性、信頼性、耐震性、維持管理性、省エネルギー性、安全性、環境性に配慮すること。 ・電気・空調等は、各エリア・室等の使い勝手を考慮し、個別制御・集中管理を適切に設定すること。 ・更新及びメンテナンスを考慮し、各設備室や設備シャフト内には、更新用の予備スペースや将来対応の空配管等を設置すること。 ・各設備機器は用途等に応じて、リスク分散、冗長性に配慮し選定すること。故障時にも速やかに修理対応が可能なものとし、交換・保守部品が、容易に入手可能なものとすること。 |

| | |
|-------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各設備機器及び設置場所は、修繕、更新時などの搬入出経路（昇降機設備が利用できない場合の揚重機械等の設置スペース含む）の確保等、維持管理の容易性に配慮すること。 ・ライフサイクルコストの低減に配慮すること。 ・地震、津波、洪水、強風、雷等の自然災害に対する被害防止対策を講じること。 ・各設備機器を屋外設置する場合は周辺環境に十分に配慮し、計画すること。 ・中央監視室において、市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）地域交流スクエア棟、（仮称）倉敷ファッションセンター棟各機器の監視制御等が行えるシステムとすること。 ・建築設備設計・施工指針 最新版 に基づきダクト・配管等は耐震施工を行うとともに、設備機器の転倒防止・落下防止対策を万全に行うこと。 ・インバーター機器は、（仮称）地域交流スクエア棟（本建物）及び周辺施設に対し影響を与えないよう必要に応じて高調波低減対策を施すこと。 ・諸室環境に応じた適切な計画を行い結露防止や防カビ対策を行うこと。 ・屋外に設置する各機器は適切な塩害対策を行い、機器の長寿命化を図ること。 ・管理区分ごとの光熱水費が明確となるように子メーター等を適切に設置すること。 |
| 電気設備 | |
| 受変電設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に高圧受変電設備を設置すること。各棟への配電方式は、施工性や維持管理等を考慮し決定すること。 ・変圧器容量は、将来的な増加分を見込むこと。 ・変圧器は超高効率のアモルファストランスとすること。 ・変圧器は増設スペースを十分見込んでおくこと。 ・電源設備は通信、情報、音響等に対し、高調波やノイズ等の影響を及ぼさないこと。 ・周囲への振動騒音、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。 |
| 発電設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・停電時に法令上求められる防災負荷及び機能維持に必要な電力供給を確保するための超低騒音型非常用発電設備を、市 |

| | |
|---------|--|
| | <p>立短期大学棟（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）地域交流スクエア棟に関する昇降機設備、給水設備については、防災負荷とすること。手動にて切り離しが可能なものとする。 ・燃料貯蔵容量については、設定発電機の消費燃料に基づき、長時間運転を考慮すること。浸水時にも機能を阻害されない様に配慮すること。但し、少量危険物の数量未滿とすること。 ・燃料補給が簡易にできるよう考慮すること。 ・周囲への振動騒音を考慮した設備とし、設置場所も浸水被害等を考慮すること。 ・（仮称）地域交流スクエア棟の必要箇所を負荷対象とすること。 ・アリーナ、遊戯室空調設備については、外部電源車にて送電を考慮すること。 |
| 太陽光発電設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋根、屋上に光熱費削減効果、外観、維持管理など、可能な限り太陽光発電設備の有効活用を考慮し設置すること。尚、下限値は特に定めないものとする。 ・商用電源との系統連系とし、停電時は自立運転が可能で、必要な負荷に供給するものとする。 ・電力監視設備で運転状況、状態監視等が監視、制御、モニター表示ができるよう配慮すること。また、太陽光発電設備の電力、電力量なども計測、計量が可能なものとする。 |
| 電力貯蔵設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に電力貯蔵設備を設置すること。 ・運用上必要な負荷を対象とした直流電源装置を設置すること。 ・直流電源装置は長寿命型とし、将来の増設を見込んだ容量とすること。 ・周囲への振動騒音、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。 |
| 動力設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・動力制御盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。 ・動力制御盤は電力の計測（空調設備、ポンプ等）が可能な回路構成とすること。 |
| 電灯設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見 |

| | |
|----------|--|
| | <p>込むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電灯設備の監視及び制御は、必要に応じて、安全性及び保全性を考慮して、必要となる動作、警報表示等が行えるものとする。 ・各施設機能を考慮し十分な照度の確保に配慮すること。 ・点滅区分を適正に設定し、こまめな消灯ができるよう配慮すること。また、人感センサー、昼光センサー制御やゾーニング制御等により、照明による消費電力の低減を図ること。 ・照明器具は、諸室の用途と適性を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行うとともに、維持管理の容易性にも配慮すること。 ・その他、必要に応じて保安照明を設置すること。 ・アリーナ照明は調光可能とすること。 ・各室の照明は事務室、中央監視室においても集中管理パネル（電灯等の一括入切が可能なもの）を設置し一括管理できるようにすること。 ・非常照明、誘導灯は、関連法令及びホール機能を考慮し設置すること。 |
| コンセント設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・拡張性に配慮すること。 ・部屋の用途及び目的に応じた取付位置、形式、数量及び容量とすること。 ・停電時の予備電源は、一般用と区別できるようにすること。 ・将来のW i - F i 対応として、各室の室面積に応じて天井コンセントを適切な個数設置すること。 ・安全上考慮が必要な部分のコンセント等についてはカバー付き・鍵付き等配慮 すること。 |
| 構内電話交換設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・電話線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、予備配管を敷設すること。 ・原則としてダイヤルイン方式とし、運営者の業務内容を想定した回線数とすること。 ・昇降機設備の遠隔監視用等に配線を行うこと。 ・建物内各室に配管配線等を行うこと。 ・各諸室に必要に応じて電話機を設置すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟で相互通話が可能なもの |

| | |
|-----------|---|
| | <p>とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟間、（仮称）地域交流スクエア棟間に予備配管を敷設すること。 |
| 構内情報通信設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・通信線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、十分な余裕をもった条数を確保すること。 ・各諸室に必要な応じて情報コンセントを設置すること。 ・情報コンセント設置位置に予備配管も敷設すること。 ・フリーW i - F i 用の配管を敷設すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟（校舎部分）間、（仮称）地域交流スクエア棟間に光ケーブルを敷設すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟間、（仮称）地域交流スクエア棟間に予備配管を敷設すること。 |
| テレビ共同受信設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・地上波デジタル放送、B S 及びC S 放送の受信が可能なアンテナ及び増幅器、ケーブルテレビによる受信設備等を設け、映像及び音響設備とも連携した共聴設備とすること。 ・その他設備のアンテナを計画するため、設置スペースを確保すること、また将来用予備配管を確保すること。 ・各諸室に必要な応じてテレビ端子を設けること。 |
| 拡声設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室、事務室に放送設備を設け、各室及び外部にマイクによる音声放送が可能なものとすること。 ・中央監視室の放送設備は、市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流センター棟で相互放送が可能なものとすること。 ・一般業務放送は、非常放送、B G M 放送、時報と兼用とすること。 ・必要箇所に音響設備を一般放送とは別に設置すること。 ・音響設備は、ワイヤレスアンプ、マイクシステムも含むものとし、プロジェクターと連動できるものとすること。 ・必要箇所に簡易型ワイヤレスアンプ、マイクシステムを設置すること。 |
| 誘導支援設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に配慮し各種誘導案内設備を設置すること。 |
| インターホン設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・各出入口には、カメラ付きインターホンを設置し、事務室、 |

| | |
|----------|--|
| | <p>中央監視室に設置されているインターホンと連携すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関インターホンはカメラ付きとし、遠隔で開錠可能とすること。 |
| 入退室管理設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室に、カード認証等による開錠システムを設置すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟の監視制御が可能なものとする。 |
| 時計設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、アリーナの使用に適した時計を設置すること。 |
| 自動火災報知設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室、事務室に受信機を設置すること。 ・中央監視室は市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟の監視が可能なものとする。 |
| 構内配電通信線路 | <ul style="list-style-type: none"> ・地中管路には、適切な箇所に点検スペースも含めた適切な大きさのハンドホール、マンホールを設けることとし、蓋は周囲の意匠に配慮すること。また、車両通行部分のハンドホールは、重耐重蓋とすること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエアの連動が可能なものとする。 ・予備配管を適切に見込むこと。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟に将来用予備配管を敷設すること。 |
| 中央監視設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、発電設備、直流電源装置、照明制御、動力設備、放送設備、自動火災報知設備、入退室管理設備、防犯カメラ設備、排煙設備、トイレ呼出設備、ELV設備等の監視制御等が停電時も含めて可能なものとする。 ・エネルギー等使用量（各種負荷設備、エリア、用途等）の監視、分析を行い最適なエネルギー管理が可能なようにBEMSを設置すること。 ・各機器の状態、異常信号、使用量が監視できるものとする。 |
| 防犯カメラ設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）地域交流スクエア棟の車や人の立ち入りを監視することを目的として適切な位置・数の防犯カメラを設置すること。画質はフルHD以上とすること。 ・防犯カメラ設備を（仮称）地域交流スクエア内及び駐車場内等の必要箇所に設置し、中央監視室、事務室で監視制御が可能なものとする。モニター等も設置すること。 |

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・カメラは夜間でも監視及び録画を行う機能を有すること。 ・録画容量は2週間分以上とすること。 ・機械警備用配管の設置を行うこと。 |
| 呼出設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレ、トイレ、授乳室等に押しボタンを設け、異常があった場合、表示窓の点灯と警報音等により事務室、中央監視室に知らせること。 |
| 情報表示設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 地域交流スクエア棟のイベント情報や関連情報などを放映する情報 モニター (デジタルサイネージ) を必要箇所に設置すること。 ・プロジェクター設備を必要箇所に設置すること。 ・プロジェクターは外光も考慮した、十分な明るさの機器とすること。 |
| 雷保護設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・J I S 規格や関連法令に従い、雷保護設備を設置すること。 ・主要機器に対して内部雷保護対策を講じること。 |
| 舞台照明設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・舞台の大きさに適したライトバトンの本数を設置し、灯体等の吊り込み作業は床レベルで行うことを前提とする。 ・各用途に対応可能な設備内容とする。 ・舞台照明全体のシステムは、LEDを念頭に置いたシステムとする。 ・調光設備はプリセット入力等演出機能に配慮した調光操作卓を設置する。 舞台袖である程度の操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・舞台や客席内での持込機器に対応した各種コンセントや電源を設置する。 ・調光主幹盤・分電盤、調光器盤で構成する。適切な電源容量・調光回路数を確保する。 ・フロアコンセント、サスペンションライト (2列程度)、ボーダーライト (2列程度)、水平ライト、シーリングライト、スポットライト等で構成する。 ・舞台袖 (上手または下手) で操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・アリーナの照明設備はイベント (ファッションショー等) 開催時に不足のない仕様とすること。 ・詳細については設計時に、市と協議を行うこと。 |
| 舞台音響設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・舞台の大きさに最適な音響、マイクシステム計画 とする。 ・各用途に対応可能な設備内容、音響調整卓とする。 |

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台や客席内での持込機器に対応した各種コンセントや電源を設置する。 ・ 舞台袖である程度の操作が可能とする。 ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・ 基本的な劇場形式では舞台の先端のプロセニウムスピーカを中心に、サイドスピーカー、フロントスピーカー、補助スピーカー等を設置すること。 ・ アリーナの音響設備はイベント（ファッションショー等）開催時に不足のない仕様とすること。 ・ 詳細については設計時に、市と協議を行うこと。 |
| 舞台映像設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターを調整室等に、可動式観覧席を考慮して設置すること。 ・ プロジェクターは、照明が点灯している状態でも視認できる機器を設置すること。 ・ 舞台袖での入力機器を想定した内容とすること。 ・ 大型スクリーンを設置すること。 |
| 舞台連絡設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台進行系、舞台系の職種間の連絡を図るため、インターカム等を設置する。 ・ 公演の進行状況が確認できるように、ホール内のモニター音を各所に供給するためのエアモニタマイクを設置する。 ・ モニタースピーカーを調整室、中央監視室等に設置し舞台、客席等の状況を把握する。 ・ 舞台進行が分かるよう舞台袖、調整室、ホワイエ、親子交流広場（くららっこ）、中央監視室等必要箇所に I T V モニターやコンセントを設ける。 |
| 空調設備 | |
| 空調設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室の空間・用途・目的に応じた空調システムを採用し、適切な室内環境を確保すること。 ・ ゾーニングや個別空調の考え方について、最適なシステムを計画すること。エントランスホール、廊下等は、適宜エリア区分し、エリア毎に管理できるようにし、事務室等の個室は個別空調を可能とするとともに、事務室、中央監視室において集中管理可能な計画とすること。 ・ 空調設備は、環境配慮、保守性、更新性を総合的に考慮し高効率の機器を採用すること。 ・ 室各所で温度等のモニタリングや温度調整ができるよう配 |

| | |
|---------|--|
| | <p>慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、諸室の静音環境を保つような設備計画に努め、屋外機器の騒音、振動が室内に伝播しないよう配慮すること。 ・一般諸室（ピアノ庫は除く）の設計温湿度条件について、屋外温湿度は、「建築設備設計基準」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）最新版に示された値のうち、本件施設用地の立地をふまえ適正な値を設定すること。屋内温湿度は、「建築設備設計基準・同要領」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）最新版によるが、利用者の快適性を考慮した計画とすること。 |
| 換気設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・諸室の用途、目的に応じた換気システムを採用すること。 ・空気バランス、省エネルギー性能、環境性能、シックハウス対策に配慮すること。 ・可能な限り各諸室で制御できるものとするとともに、事務室、中央監視室において集中管理可能な計画とすること。 |
| 排煙設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令に従って、必要に応じて設置すること。 |
| 自動制御 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室において設備機器類の運転監視を可能とし、日常点検や維持管理、異常警報等の監視システムを計画すること。 |
| 給排水衛生設備 | |
| 給水設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・給水システムの選定に当たっては、建物計画による合理性に配慮すること。 ・給水方式は原則、直結直圧式もしくは受水槽式（ポンプ直送式）とする。 ・受水槽を設置する場合は、以下を原則とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 感震器連動の緊急遮断弁及び給水栓を設けること。 ◦ 衛生に配慮し藻対策を考慮すること。 ◦ 保守点検時に供給が停止しないように配慮した計画とすること。 ◦ 災害時にも十分に機能を確保できるよう配慮すると共に、設備機器の耐候性や耐久性にも配慮すること。外部に設ける場合は液状化に配慮した設置計画とすること。 |
| 排水設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・保守性、機能性に配慮すること。 ・汚水と雑排水は別系統で整備する。 |

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|-------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・適切に下水道に接続すること。なお、排水に関しては、自然勾配によることを基本とし、ポンプアップはできる限り行わないこと。 ・屋外排水ルート（雨水含む）は、極力建築物の下部を通過しないこと。 ・必要に応じて、グリーストラップやプラスチックトラップ等の阻集器を設けること。阻集器は防臭蓋とし、床面の水や砂埃等が流入しない構造とすること。 |
| 給湯設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・保守性、機能性、省エネ性、安全性に配慮すること。 |
| 衛生設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・機能性、節水性、清掃を含む保守性に配慮すること。 ・感染症対策に十分配慮し、非接触型を基本とした衛生器具を採用すること。 ・想定される建物利用者に応じて誰もが使いやすい器具を採用し、ユニバーサルデザインに配慮すること。 ・原則、大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・原則、小便器は低リップとすること。 ・原則、手洗いは自動水栓とすること。 ・トイレ内の掃除道具入れには掃除用流しを設置すること。 |
| ガス設備 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令に従って、必要に応じて設置すること。 |
| 消火設備等 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防法に基づき、必要な消火設備を設置すること。 ・原則として、消火器ボックスは、壁埋め込み方式とすること。 |

3. 各諸室の要求水準

(仮称) 地域交流スクエア棟における各諸室の計画内容は、次のとおりである。
 なお、各諸室に設置する什器、設備などは以下に示すもののほか、「【別表02】(仮称) 地域交流スクエア棟」を参照し、設置すること。

(1) 地域交流センター

| ホール・アリーナ | |
|----------|---|
| 用途 | 講演会、演奏会、演劇、入学・卒業式、屋内スポーツ等 |
| 規模 | 840 m ² 程度 (可動式観覧席収納部を除く) |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館利用者、ホール利用者にとって利用しやすい配置、動線計画とし、イベント主催者等が控室等を利用しやすく、機材搬入に配慮した計画とすること。 ・ アリーナ平面内法寸法は短辺24m×長辺35m以上。最低有効天井高は10m以上。 ・ 床は原則、上足使用とし。下足で利用するイベント時等にはシートを敷いて対応するものとする。スポーツやイベント、講演などでの利用を想定した工法・材料を選択すること。 ・ 壁と天井はスポーツの使用を念頭に、ホール機能を想定して、反響音や吸音等に配慮した形状・材料とすること。講演などで明瞭に音が聞き取れること。 ・ ミニバスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、ドッジボールなどのスポーツが行えること。 ・ ミニバスケットボール (2 面)、バレーボール (6 人制 2 面、9 人制 1 面)、バトミントン (4 面)、ドッジボール (1 面)、その他市の指示するスポーツのコートを整備し、ポールの基礎、ポール、ネットを設置すること。 <p>各競技のコートサイズは以下を目安とし、コート間隔や安全帯等を考慮のうえ、協議により決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ミニバスケットボール 22.5mx14m 2 面 ★バレーボール (6 人制) 18mx 9m 2 面 ★バレーボール (9 人制) 20mx10m 1 面 ★バドミントン 13.4mx6.1m 4 面 ★ドッジボール (小学生男子女子サイズ内野10m×20m) |

| | |
|--|---|
| | <p style="color: red;">外野16×8m 1面。ただし、コートラインは、テープで作るため事業では作成不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットゴールは壁付式の折り畳み式かつゴールネットが上下に調整できるようにすること。 ・アリーナの中央及び周囲に可動式のネットの間仕切り等を設置すること。ネットは実施するスポーツの球が通り抜けないものであり、容易に施設管理者などで取外しができること。 ・入学式卒業式、親子ふれあいパーク、こどもの森、ファッションショー、コンベンション、音楽発表会、演劇などのイベントが行えること。 ・イベント用機材や資材が容易に搬入できる計画とすること。 ・イベント利用など考慮して、床コンセントを適宜配置すること。 ・500席程度の可動式観覧席（光学誘導前方移動式が望ましい）及び当該収納部をアリーナ短辺の舞台反対側へ設けること。移動式観覧席と現場で設営する椅子席を合せて座席数800席程度とすること。席数設定に当たっては車いすの利用を適切に見込むこと。なお、2階から利用できる客動線は不要である。 ・可動式観覧席の椅子は長時間の利用、コンベンションでの利用に配慮した、座り心地のよい仕様とする。席番号を各席に表示すること。 ・窓を設ける場合には暗幕を設置すること。また、様々な使用状況を想定し、ガラス面の保護を図ること。暗幕は簡単に開閉操作ができるものであること。 ・出入口の扉は開戸とすること。 ・ホワイエからの接続は前室によること。前室は遮音、遮光に配慮し、下駄箱（60足、上下2段収納式）を設置すること。 ・時計等を客席から見える位置に設置すること。 ・1面の壁に鏡（幅4m以上×高さ1.8m程度、扉付）を設置すること。 ・他室の利用に差支えが生じたり、外部に音の影響を及ぼしたりしないよう、壁等には、適切な遮音性を確保すること。 ・調整室及びメンテナンス用キャットウォークを可動式観覧席 |
|--|---|

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|--------|--|
| | <p>収納部の上部に設けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各設備機器（アリーナ機器、舞台照明、音響等）は点検歩廊にて点検整備が可能なものとする。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・照明器具は調光可能な器具とすること。 ・利用内容にふさわしい音響設備を設置すること。（詳細については実施設計時に、市と協議を行うこと） ・室内スポーツを行うために必要な照度を確保すること。 ・床の結露等による安全面への影響、床材の早期の劣化等が発生しないよう配慮すること。 ・ホール・アリーナは人が滞在するエリアを考慮した大空間に適する空調方式を採用すること。また気流による卓球、バドミントンなどの屋内競技や一般的な演奏会、演劇鑑賞会などへの影響に配慮し、利用状況に応じて快適に過ごせる空調方式とすること。 ・可動式観覧席を考慮した計画とし、客席部分で温度分布のムラができないように配慮すること。 ・空調の吹き出し口等については、球技の飛球による損壊を防ぐための十分な対策を講じること。 ・ホール・アリーナの空調は、災害時において外部電源等により設備の使用が可能な仕様とすること。 ・空調は故障時においてもリスク分散できるシステムを配慮すること。 |

| 舞台・舞台袖 | |
|--------|--|
| 用途 | 講演会、音楽演奏会、演劇、入学・卒業式等 |
| 規模 | 240 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・舞台をエンドステージ方式でアリーナ短辺に面して設けること。 ・各種イベントを行うに十分な舞台計画とすること。 ・舞台平面寸法は幅13m以上×奥行10m以上とし、高さは1 m 程度とすること。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・プロセニウム巾12m以上。高さ6m以上とすること。 ・スクリーンはイメージ寸法幅8m×3m以上かつ、アリーナ規模にふさわしいサイズを確保できる大きさとする。 ・舞台上部にはスノコを設け、道具バトン、ライトバトン、諸幕用バトン等の吊物を設置すること。吊物の駆動は原則、電動方式とし、その他詳細は提案による。 ・ライトバトンの要件は舞台照明設備要件による。 ・吊物バトンは舞台の大きさに適した本数を設置し、緞帳（引割または三つ折またはそれに代わるもの）、一文字幕、袖幕、ホリゾン幕等を適切な数量、整備すること。 ・アリーナ天井にはシーリングライトを設けること。 ・音響の要件は舞台音響設備要件による。 ・舞台設備は更新性、メンテナンス性に優れ、ランニングコストに配慮した計画とする。 ・外部への騒音に配慮すること。 ・他室や外部への音の影響がないよう、壁等には、適切な遮音性を確保すること。 ・コールドドラフトの防止をはじめ幕ゆれの防止等の良好な環境を確保し、舞台上演や演奏及びそれらの演出等客席での鑑賞に支障のない計画とする。 ・床は上足使用とし、演劇の利用を想定した工法・材料を選択すること。 ・入学式などでの利用を想定し、アリーナ部分から舞台に上がれる階段を設けること、ただし、階段は後付できる可搬式でもよい。車いす利用者の舞台への移動に配慮した計画とすること。 ・舞台床下にはパイプ椅子やシートの収納が行えるようにすること。 ・舞台袖を舞台両脇に設けること。また、以下に従うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 控室部分（更衣室、親子交流室）への連絡に配慮した計画とすること。連絡通路となる部分の扉は高さ2.2m以上とすること ◦ 調整室へのアクセスに配慮した計画とすること。 ◦ 舞台設備（舞台機構・音響・照明）調整コーナーを設ける |
|--|--|

| | |
|----------|---|
| | <p>こと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事などを考慮し、35人以上が待機するに十分な広さとする。 ・ ピアノ庫を設けること。詳細はピアノ庫の項による。 ・ 舞台、舞台袖と器具庫、舞台備品庫は一体的に利用できること。搬入口を近接して設けること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 ・ 演者の移動や道具の搬出入に支障がないこと。 ・ 舞台から演者が移動する諸室への動線上にある出入口は、衣装での移動や楽器の移動を考慮して有効高さ2.2m以上有効開口幅1.2m以上を確保すること。 |
| 建築設備要件 | － |
| 舞台照明設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台の大きさに適したライトバツンの本数を設置し、灯体等の吊り込み作業は床レベルで行うことを前提とすること。 ・ 各用途に対応可能な設備内容とする。 ・ 舞台照明全体のシステムは、LEDを念頭に置いたシステムとする。 ・ 調光設備はプリセット入力等演出機能に配慮した調光操作卓を設置する。舞台袖である程度の操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・ 舞台や客席内での持込機器に対応した各種コンセントや電源を設置する。 ・ 調光主幹盤・分電盤、調光器盤で構成する。適切な電源容量・調光回路数を確保する。 ・ フロアコンセント、サスペンションライト(2列程度)、ボォダーライト(2列程度)、ホリゾントライト、シーリングライト、スポットライト等で構成する。 ・ 舞台袖(上手または下手)で操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・ アリーナの照明設備はイベント(ファッションショー等)開催時に不足のない仕様とすること。 ・ 詳細については設計時に、市と協議を行うこと。 |
| 舞台音響設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台の大きさに最適な音響、マイクシステム計画とする。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各用途に対応可能な設備内容、音響調整卓とする。 ・舞台や客席内での持込機器に対応した各種コンセントや電源を設置する。 ・舞台袖である程度の操作が可能とする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。 ・基本的な劇場形式では舞台の先端のプロセニウムスピーカを中心に、サイドスピーカー、フロントスピーカー、補助スピーカー等を設置すること。 ・アリーナの音響設備はイベント（ファッションショー等）開催時に不足のない仕様とすること。 ・詳細については設計時に、市と協議を行うこと。 |
|--|--|

| ピアノ庫 | |
|--------|---|
| 用途 | ピアノの収納 |
| 規模 | 15 m ² 程度 (舞台・舞台袖面積に含む) |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・フルコンのピアノが1台程度設置可能なスペースであること。 ・ピアノ搬送台も収納可能であること。 |
| 他室との関係 | ・舞台に容易にピアノを搬入できる位置に設けること。 |
| 建築設備要件 | ・ピアノの保管に適切な温度・湿度を常時維持・調節する空調設備を設ける。 |

| 舞台備品庫、器具庫、倉庫（アリーナ）、器具庫（アリーナ） | |
|------------------------------|---|
| 用途 | 舞台備品庫、スポーツ用器具等の収納、アリーナで使用するイベント什器等の収納、アリーナ利用者が遊戯室で使う器具等の収納 |
| 規模 | 舞台備品庫 40 m ² 程度 器具庫 80 m ² 程度 倉庫（アリーナ） 10 m ² 程度 器具庫（アリーナ） 10 m ² 程度 |
| 設置数 | 各1室 |
| 諸室仕様 | (舞台備品庫) <ul style="list-style-type: none"> ・舞台で使用する合唱用のひな壇、平台、演台、大道具類、照明音響機材、国旗、校旗、各種看板等を収納するスペースと |

| | |
|--|---|
| | <p>し、舞台と同じレベルに設ける計画とする。アリーナレベルとの間で物品を移動するとき、段差解消する装置を必要に応じて設置すること。(想定する移動物品は舞台用台車(約1.2m×0.75m。耐荷重500kg)程度。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入口を設け、搬入スペースを確保する。搬入口は4tロングトラックから支障なく荷下ろしできる計画とする。搬入口は大道具搬入に支障のない大きさとし、インターホンを設置すること。 <p>(器具庫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナで使用する体育器具、イベント什器、後付階段等を収納するスペースとし、アリーナと同じレベルに設ける計画とする。 ・床、壁は物品の搬出入に配慮した工法・材料を選択すること。 ・適宜、物品棚、ポール置場を設置すること。 ・舞台備品庫と器具庫は一体的な空間として計画してよい。 <p>(器具庫(アリーナ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっぱら(仮称)地域交流スクエア棟利用者が遊戲室やアリーナで利用する体育用品等を収納するスペースとし、アリーナと同じレベルに設ける計画とする。 ・吊戸(ハンガー戸)とする。 ・床、壁は物品の搬出入に配慮した工法・材料を選択すること。 ・器具庫(アリーナ)には適宜、物品棚を設置すること。 <p>(倉庫(アリーナ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっぱらアリーナで利用するイベント用品等を収納するスペースとし、アリーナと同じレベルに設ける計画とする。 ・吊戸(ハンガー戸)とする。 ・床、壁は物品の搬出入に配慮した工法・材料を選択すること。 |
|--|---|

別紙２ （仮称）地域交流スクエア棟施設整備計画要領（令和６年７月１日修正版）

| | |
|--------|------------------|
| | ・適宜、物品棚を設置すること。 |
| 他室との関係 | ・物品の搬出入に支障がないこと。 |
| 建築設備要件 | － |

| 倉庫（ホワイエ） | |
|----------|---|
| 用途 | 展示用品等の収納 |
| 規模 | 15 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイエから直接出入り可能な場所へ倉庫を設けること。収納品類は安全かつ容易に出し入れができるようにすること。 ・床は下足使用とし、利用環境を想定した工法・材料を選択すること。 ・壁は器具の衝突等に配慮した工法・材料とすること。 ・器具庫と兼用してもよい。 |
| 他室との関係 | ・物品の搬出入に支障がないこと。 |
| 建築設備要件 | － |

| 調整室 | |
|--------|---|
| 用途 | 音響・照明調整 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・客席後方の舞台が見渡せる位置に調整室を設けること。 ・音響調整及び調光操作を行う機能を有すること。 ・舞台袖から調整室へのアクセスに配慮した計画とすること。 ・講演等に支障のない遮音性を有していること。 ・ピンスポットライト（２台）設置可能なスペース及び開口部を有していること。 ・ピンスポットライト等灯具が、アリーナ内に直接移動できる扉を計画すること。 ・ＯＡ床とする。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| ホワイエ | |
|--------|--|
| 用途 | 入館者の待合及び展示等 |
| 規模 | 120 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーから一体感のある空間とし、かつ、児島公園を含む周辺環境との連続性のある空間とすること。 ・屋外と一体的な利用も可能になるよう、開口部を適切に確保すること。 ・華美になりすぎないこと。 ・待合、交流スペースを設けること。 ・一部は展示スペースとしての利用も可能なスペースとし、天井付近には、多少重量のある絵画作品等も展示できるような、ピクチャーレール等の器具を適宜設置すること。 ・ロールスクリーンを設けること。 |
| 他室との関係 | ・ロビーと一体性のある計画とすること。 |
| 建築設備要件 | － |

| ホワイエトイレ (男・女・多目的) | |
|-------------------|---|
| 用途 | 便所 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイエに面して、客席数に応じた便器数を適宜設ける。 ・適切な位置に、男性用便所、女性用便所、多目的トイレを設置すること。 ・多目的トイレには、多目的シート、ベビーチェア、フィッティングボード、オストメイト用設備を設置すること。 ・防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置 (幼児用除く) すること。 ・便所の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。 |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の使用を想定した高さの低い手洗いを男性用便所、女性用便所に各1台設置すること。 ・ 手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 ・ 小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。 |
| 他室との関係 | ・ ロビー、ホワイエからの視認性がよい場所に設けること。 |
| 建築設備要件 | － |

| 更衣・脱衣室 シャワー室 | |
|--------------|---|
| 用途 | 更衣・脱衣、シャワー |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備するロッカー70個（女30、男30、多目的10） ・ 女性用、男性用、多目的はそれぞれ独立した室とする。 ・ 各室にはカウンター手洗い各1台（ボウル・水栓等×2）を設置する。 ・ シャワー室を7ブース（女3、男3、多目的1）程度設ける。それぞれのシャワー室には、個別に脱衣室を設ける。 |
| 他室との関係 | ・ スポーツでの利用だけでなく、ホール利用時の演者等の利用も考慮すること。 |
| 建築設備要件 | ・ 室全体で適切な空調が行えるようにすること。 |

| 2階多目的トイレ | |
|----------|--|
| 用途 | 更衣室、親子交流広場（くらっこ）が1階以外に設けられた場合の多目的トイレ |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子交流広場（くらっこ）設置階には多目的トイレを設置すること。 ・ 多目的トイレには、ベビーチェア、ベビーシート、フィッティングボードを設置すること。 ・ 幼児用大便器（暖房便座）を設けること。 ・ 防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 |

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・衛生機器はすべて自動水栓とすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座を設置（幼児用除く）すること。 ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗いや大便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 |
| 他室との関係 | ・親子交流広場（くららっこ）利用者が使いやすい位置に配置すること。 |
| 建築設備要件 | - |

(2) 児童館

| 遊戯室 | |
|------|---|
| 用途 | 遊戯、屋内スポーツ、講演会、音楽会、ベビーマッサージ等 |
| 規模 | 1 5 60 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とし、天井高は6.5m以上とすること。 ・床材はスポーツ系の利用を想定したフローリングを選択すること。 ・児童館に通じる出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・出入口部分には暗幕が設置できるようカーテンレールを設けること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・窓には暗幕を設置すること。また、様々な遊戯、スポーツを想定し、ガラス面、設備機器の保護を図ること。 ・保育園児等が利用することに配慮した、内装の設えとすること。 ・外部からの騒音に配慮すること。 ・アリーナと遊戯室の間で、騒音と振動が相互の活動に大幅に影響しないよう、適切に配慮すること。 ・隣室への音の影響がないよう、壁、扉等には、適切な遮音性を確保すること。 ・器具・備品庫を室に面して設置すること。備品類は安全に出 |

| | |
|--------|--|
| | <p>し入れができるようにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・吊り物用バトンを設置すること。 ・バスケットコート、バトミントンコート、バスケット用ゴール、バトミントン用ネットを設置（ポール、基礎共）するとともに、遊戯室の中央にネットの間仕切りを設置すること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ利用者の遊戯室利用も考慮し、児童館閉館時に児童館の諸室を通ることなく入室・利用できるような配置・機能とすること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・音響スピーカー及びワイヤレスマイク、アンプを設置すること。 ・利用内容にふさわしい音響設備を設置すること。（詳細については実施設計時に、市と協議を行うこと） ・室内スポーツを行うために必要な照度を確保すること。 ・床の結露等による安全面への影響、床材の早期の劣化等が発生しないよう配慮すること。 ・空調の吹き出し口等については、球技の飛球による損壊を防ぐための十分な対策を講じること。 ・遊戯室の空調は、災害時において外部電源等により設備の使用が可能な仕様とすること。 |

| 集会室 | |
|------|--|
| 用途 | 会議、講座、アリーナ使用時の控え室など。 |
| 規模 | 60 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣室の音が気にならない程度の仕様とすること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・外部からの騒音に配慮すること。 ・床材はフローリングとすること。 ・集会室用倉庫（30m²程度）を室に面して設置すること。 |

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 他室との関係 | ・ 左右の隣接する諸室は、騒音・振動の影響が大きい室としないこと。 |
| 建築設備要件 | － |

| 図書・パソコンコーナー | |
|-------------|---|
| 用途 | 図書の閲覧、読書など |
| 規模 | 40 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンフロア方式とし、書架は床と緊結すること。 ・ 什器及び書架は目線の高さまでとすること。（ただし、壁付けの什器又は書架を除く。） ・ 床は騒音に配慮し、歩行音の発生が少なく、冷たさを感じにくい材料を使用すること。 ・ 自然光を可能な限り確保すること。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 ・ 合計で10m程度の書籍が収納できる書架を設置すること。 ・ 書架には地震等の際の転倒防止及び、図書等の落下防止対策を講じること。 ・ 書籍閲覧用の机・椅子を必要数設置するスペース。 ・ 雑誌ラックを設置すること。 ・ パソコン閲覧用の椅子、机（キャレルデスクが望ましい）を4箇所程度設置すること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 創作活動室 | |
|-------|--|
| 用途 | 図画工作、会議等 |
| 規模 | 40 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣室に対し、音が気にならない程度の仕様とすること。 ・ 出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・水や染料に強く、掃除がしやすく、変色しにくい床材を採用すること。 ・水や染料に強く、掃除がしやすく、テープが貼れる壁材を採用すること。 ・水や染料に強く、掃除がしやすく、明るい天井材を採用すること。 ・水栓が2つ以上ある流し台（幅1,200mm×奥行き600mm×高さ700mm）を2基と流し台の高さに合わせた戸棚を設置する。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 |
| 他室との関係 | ・事務室で借りたおもちゃを使って遊ぶことが想定されるので、事務室の近くに配置することが望ましい。 |
| 建築設備要件 | － |

| 食育活動室 | |
|-------|--|
| 用途 | 調理実習、料理教室など。（市立短期大学授業でも使用） |
| 規模 | 120 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業机として、以下の仕様の什器を設置すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 講師用調理台 × 1 台 （幅3.6m×奥行0.9m×高さ0.8m、IHコンロ200V 3口、流し台（水栓2つ以上、温水）） ◦ 調理台 × 6 台 （幅2.1m×奥行0.9m×高さ0.8m、高さ調整機能付き、IHコンロ200V 3口、流し台（水栓2つ以上、温水、蓋掛））（※市立短期大学供用を踏まえて設定。講師用×1台＋調理台×6台）。 ◦ 車いすでの利用が可能な形状とすること。 ◦ 各調理台にはホットプレートと電子レンジの使用が可能なコンセントを設けること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・排煙、換気に配慮すること。 ・床、壁、ブラインドの材質の剪定にあたっては、水や油に強 |

| | |
|--------|---|
| | <p>く、清掃しやすい材料とする事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを前1か所に設置すること。レバーハンドル等により1枚のホワイトボードを好きな高さに調整できるタイプ（以下、スライダー式と称す）とし、プロジェクター映写が可能な性能であること。 ・教室後方に、以下を設けること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 調理器具・食器用の鍵付き戸棚（高さ2.1m程度、耐震ラッチ付） ◦ 畳コーナー（4畳半程度、移設可能） ◦ 長机（幅1.8m）が4台置ける程度のスペース ・窓下に鍵付き調理器具、食器用の棚（高さ1.0m程度、コンセント付）を設置すること。 ・冷蔵庫を設置できるスペース、コンセントを整備すること。 ・水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・児童館外部からの利用者のための下駄箱（上下2段収納式60人分）を廊下側に設置すること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学の調理室としての利用も考慮し、児童館閉館時に児童館の諸室を通ることなく入室、利用できるような配置・機能とすること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを設置すること。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・冷蔵庫用コンセントは警報機能を付加すること。 |

| 相談室 | |
|------|---|
| 用途 | 相談など |
| 規模 | 5 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣室の音が気にならない程度の仕様とすること。また、部屋の外から安易に見えないようにすること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・室内の音が外に漏れ聞こえないよう配慮すること。 |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・床は掃除のしやすい床材とすること。 ・利用の有無がわかるようにすること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 乳幼児室 | |
|------|---|
| 用途 | 乳幼児用スペース |
| 規模 | 60 m ² 程度 (幼児用トイレ、調乳室、授乳コーナー含む。) 定員 10 名程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とすること。 ・幼児が転倒時にも怪我をしにくく、汚れの拭き取りや掃除がしやすい床材を選択すること。 ・落書き等の汚れの拭き取りや掃除がしやすい壁仕上げ材を選択すること。 ・柱や出隅部分は面取りを行い、クッション材をつけること。 ・出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・外部からの騒音に配慮すること。 ・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、壁等には、適切な遮音性を確保すること。 ・子供の手が届かない位置に手洗いを設置すること。 ・幼児用トイレを設置すること。トイレには幼児用洋式大便器（3－5歳児童用、暖房便座）、幼児用手洗い、幼児用小便器およびおむつ替え用ベビーシートを設けること。また、別途、大人用の洋式大便器（暖房機能付き温水洗浄便座・擬音装置）、手洗いを幼児用トイレ内に設置すること（ベビーチェア共）。 ・手洗いや大便器部分は、手荷物などがおけるように配慮すること。 ・授乳コーナーは2 m²以上とし、安易に覗かれないよう工夫し、ベビーベッド、椅子を設置すること。また、台付一槽SUSシンク（温水）とSUS作業台を設置すること。水栓器 |

| | |
|--------|--|
| | <p>具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</p> <p>・コンセント設置位置は、床から1.2m以上の高さにすること。</p> <p>・コンセントは、乳幼児の安全が確保できる仕様又は設置位置等を計画するとともに、利便性にも配慮すること。</p> |
| 他室との関係 | <p>・事務室に近接した位置に設けること（トイレより近くてもよい）。</p> <p>・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。</p> |
| 建築設備要件 | <p>・室全体で適切な空調が行えるようにすることとし、乳幼児に配慮した空調設備（床暖房など）を採用すること。</p> |

| 授乳室 | |
|--------|--|
| 用途 | 授乳を行う。 |
| 規模 | 5 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <p>・台付1槽SUSシンク（温水）、授乳椅子、ベビーベッドを設置すること。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</p> <p>・ハンガー戸とすること。</p> <p>・利用中であることがわかるように扉には明かり窓などを設けること。</p> |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 児童館トイレ（男・女・多） | |
|---------------|--|
| 用途 | 便所 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <p>・適切な位置に、男性用便所、女性用便所を配置すること。便器等の数量は、利用者の内容（子ども、大人）や人数を考慮して設定すること。</p> <p>・主要な各階に多目的トイレを設置すること。</p> <p>・多目的トイレには、ベビーチェア、収納型おむつ替え用ベビ</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>ーシートを設置すること。1階の多目的便所には前記に加えてオストメイトを設けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 倉庫 | |
|--------|---|
| 用途 | 備品等の収納（遊戯室用倉庫、集会室用倉庫、屋外倉庫、その他の倉庫） |
| 規模 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室用倉庫 30 m²程度 ・集会室用倉庫 30 m²程度 ・屋外倉庫 20 m²程度 ・その他の倉庫 提案による <p>合計 100 m²程度</p> |
| 設置数 | <p>※集会室用倉庫、屋外倉庫は複数の室に分散してもよい。</p> <p>※その他の倉庫は、提案による。</p> |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種設備の補修点検用器具、補修材料等の保管を行う倉庫を設けること。 ・適切なスペースを確保すること。 ・利用内容を考慮して配置すること。 ・遊戯室用倉庫には、壁の一面（長い方）に備品棚を設けること。 ・壁材は、物がぶつかったときに欠損が発生しないような材料とすること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室倉庫は遊戯室に近接していること。面しているのが望ましい。 ・集会室用倉庫は集会室に近接していること。 |

| | |
|--------|---|
| | ・屋外倉庫は、屋外から直接下足で入室できること、かつ、車両を横付けできる位置に設けること。 |
| 建築設備要件 | － |

| 洗濯スペース | |
|--------|--|
| 用途 | 洗濯 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋上に物干しスペースを設けること。面積は協議による。 ・物干しスペースに近接した屋内に洗濯スペースを設ける。 ・移設する洗濯機（2台）を設置可能なオープンスペースとする。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 一輪車スペース | |
|---------|--|
| 用途 | 一輪車遊び |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋外に一輪車スペースを設けること。面積は協議による。 ・一輪車スペースへは、児童館管理区域外を通ることなく行けること。屋外、屋上、いずれに設けてもよい。 ・一輪車スペースへは靴をもって移動するため、入口下駄箱からなるべく近い場所がよい。 ・利用者が外に飛び出ないために適切な措置をとること。 ・清掃のための水栓。手洗い場を設けること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 児童館廊下 | |
|-------|------------------------------|
| 用途 | 廊下 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | ・多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員 |

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|--------|---|
| | <p>についても余裕のあるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。 ・必要な場所に手すりを設けること。 ・掲示板(幅1.8m×高さ1.2m程度)を適宜設置すること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。 ・児童館スペースを入ったところに設ける児童館受付の周りには下駄箱(140足、上下2段収納式)を設置すること。 ・土足エリアはベビーカーを置くことができるように十分なスペースを確保すること。 ・受付前に手を洗うための、カウンター手洗い(3栓、高さ0.6m×1台、高さ0.8m×2台)を設けること。 ・エントランス側のカウンターの下に、利用者が手荷物を収納するオープン収納ロッカーを設置すること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 砂場 | |
|--------|---|
| 用途 | 児童館利用者のための砂場 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部に設けること。面積は協議による。 ・砂場へは、児童館管理区域外を通ることなく行けること。屋外、屋上いずれに設けてもよい。 ・砂場へは靴をもって移動するため、入口下駄箱からなるべく近い場所がよい。 ・水栓。手洗い場を設けること。 ・可動式日よけシェードの設置と猫よけのネットを周囲にめぐらせること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

(3) 短期大学

| 親子交流広場（くらっこ） | |
|--------------|--|
| 用途 | 地域子育て支援拠点 |
| 規模 | 95 ㎡以上 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下を設けること。 ▫ 執務スペース（カウンター等は移設） ▫ 授乳スペース（カーテン等で区切られること） ▫ ボールプール（木製、三畳程度、木製ボール含む）。 ▫ 備品収納スペース（カーテン等で区切られること） ▫ 備品（卓上IH、電子レンジ、冷凍冷蔵庫）設置スペース ・ 乳幼児等の利用に配慮した、内装、家具の設えとすること。 ・ 床はフローリングとすること。 ・ 壁材は、物がぶつかったときに欠損が発生しないような材料とすること。 ・ 壁は床から1 mまでは木質系の仕上げ、1 m以上の壁は掲示可能（押しピンなどさせる）仕上げとすること。 ・ ピクチャーレールを設置すること。 ・ 廊下から乳幼児の姿が見えるよう、ドア、壁を工夫すること。 ・ 出入口の高さは2.2m以上とすること。 ・ 鍵は通常の鍵に加えて、子供の手の届かない位置に鍵を設けること（内側と外側両方）。 ・ 室内にベビーカーも入ることを配慮した計画とすること。 ・ 子供用洗面手洗い（手動水栓3栓）、大人用洗面手洗い（自動水栓）を、各1セット設置すること。また、各手洗いには鏡を設置すること。 ・ 台付一槽SUSシンク（幅1.2m程度、下部収納、上部戸棚共）（温水）を設置すること。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・ 廊下にベビーカー置き場、掲示板を設置すること。 ・ 利用者は上履きに履き替える、廊下側に下駄箱（60人、上下2段収納式）に設ける。 ・ 公園、アリーナ、児童館利用者の歓声に配慮すること。 |

別紙2 （仮称）地域交流スクエア棟施設整備計画要領（令和6年7月1日修正版）

| | |
|--------|--|
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子交流広場（くらっこ）としての利用だけでなく、ホール利用時の演者等の利用も考慮すること。 ・児童館管理区域外に設けること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・まぶしさを考慮した調光可能な照明器具を設置すること。 ・室全体で適切な空調が行えるようにすることとし、乳幼児に配慮した空調設備（床暖房など）を採用すること。 |

| 倉庫（くらっこ） | |
|----------|---|
| 用途 | 倉庫 |
| 規模 | 10 m ² 程度 |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学が（仮称）地域交流スクエア棟で使用する親子交流広場（くらっこ）の物品を収納する倉庫。 ・適切なスペースを確保すること。 ・壁材は、物がぶつかったときに欠損が発生しないような材料とすること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| 倉庫（調理） | |
|--------|--|
| 用途 | 倉庫 |
| 規模 | 10 m ² 程度 |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学が（仮称）地域交流スクエア棟で使用する物品を収納する倉庫。 ・冷蔵庫（2台で合計500リットル程度）を設置するスペースを設けること。 ・壁材は、物がぶつかったときに欠損が発生しないような材料とすること。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | ・冷蔵庫用コンセントは警報機能を付加すること。 |

（4）共用部

| | |
|---|---|
| 事務所(更衣室含む) ※(仮称) 地域交流スクエア棟のホール・アリーナ管理者と共用 | |
| 用途 | 指定管理事務、総合受付、児童館事務など |
| 規模 | 90 m ² 程度 |
| 設置数 | 1 室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務室は来館者の様子が確認でき、来館者からわかりやすい位置に配置すること。 ・ 指定管理事務、総合受付、児童館事務、共用部(更衣室等)で構成する。 ・ 児童館事務部は、衝立などにより容易に個人情報保護が可能な配置とする。 ・ 自然光を可能な限り確保すること。 ・ 自然光を調整できるよう窓にはブラインドを設置すること。 ・ 4人程度が同時に休憩できる、打合スペースを設けること。 ・ ミニキッチン(上部吊戸棚)を設置し温水が利用できること。冷蔵庫、電子レンジ台、食器棚等を設置可能とすること。 ・ 水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・ 更衣室(女9、男6)を設けること。 ・ 更衣室は女性用、男性用はそれぞれ独立した室とする。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 ・ 出入口付近に救急用品収納スペースを設けること。 ・ OA床とする。 ・ 出入口の扉は引き戸(ハンガー戸)とすること。 <p>総合受付部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付・総合案内に対応するため、カウンターを設置すること。カウンターは、事務室側0.3m程度、エントランス側0.5m程度とし、エントランス側は、座って書類に記入ができるようにすること。 ・ 当日の予定が分かる行事予定板を設置すること。 |

| | |
|--------|---|
| | <p>児童館事務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の受付・総合案内に対応するため、カウンターを設置すること。カウンターは、事務室側を奥行0.4m程度、エントランス側を奥行0.4m程度とし、高さは0.75m程度にすること。 ・おもちゃの貸出用、室予約用カウンター窓口を設けること。窓口近くには、職員が管理するおもちゃ収納スペースを設け、保管棚を設置すること。 ・当日の予定が分かる行事予定板を設置すること。 ・児童館事務部から、直接児童館へ出入りできる出入口を設けること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室の近くに設けること。一体としてもよい。 ・可能な限り職員がどの部屋にもすぐに駆け付けられ、事務所から多くの部屋を見渡せるよう配置に配慮すること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ監視モニターを設置すること。 |

| 中央監視室 | |
|--------|--|
| 用途 | 公園を含む本事業の中央監視，防災設備管理等を行う。 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・機能重視の簡素な部屋とすること。 ・更衣スペースを設けること。 ・OA床とする。 ・通用口を設けること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・館内各所及び、各施設にアクセスしやすい位置に配置すること。 ・公園を含む、施設全体のセキュリティ対策、不審者対策に有利な位置に配置すること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室において、市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター各機器の監視制御等が行えるシステムを設置すること。 ・エネルギー等使用量の監視、分析を行い最適なエネルギー管理が可能な様にBEMSを採用すること。 ・各機器の状態、異常信号、使用量が監視できるものとする。 |

| ロビー・風除室 | |
|---------|---|
| 用途 | ロビー |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 1室 |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、開放感のある、かつ、文化施設としての趣の空間とすること。華美になりすぎないこと。 ・来訪者からわかりやすく、かつ、児島公園を含む敷地一帯の動線計画が円滑となり、セキュリティの確保が容易な場所に配置すること。 ・待合スペースを設けること。 ・パンフレットの配付棚の設置スペースを確保すること。 ・正面玄関は自動扉とし、風除室を設置すること。 ・雨水等を施設内に持ち込まないよう、雨水等対策のステンレスラインのマットを設置すること。 ・傘立てを設置する場所を確保すること。 ・入口に郵便受けを設置すること。 ・案内板を設置すること。 ・受付に近い、分かり易い位置に、AED（自動体外式除細動器）用ボックスを設置すること。 ・入口付近に救護用の水栓を設けること。 |
| 他室との関係 | ・事務室、ホワイエに隣接すること。 |
| 建築設備要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージを設置すること。 ・玄関インターホンはカメラ付きとし、遠隔で開錠可能な設備とすること。 |

| 清掃員控室 | |
|-------|--|
| 用途 | 清掃作業員が更衣や休憩するための部屋 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業員が休憩・更衣するための家具、ロッカー等が置けるようにすること。 ・手洗いを設けること。 ・作業用の清掃用具等を保管する棚や冷蔵庫等を設置できるスペースを設けること。 |

別紙2 (仮称) 地域交流スクエア棟施設整備計画要領 (令和6年7月1日修正版)

| | |
|--------|---|
| 他室との関係 | - |
| 建築設備要件 | - |

| | |
|-----------|--|
| 廊下 | |
| 用途 | 廊下 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。 ・ 安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。 ・ 必要な場所に手すりを設けること。児童の利用が見込まれる場所は2段手すりとする。 ・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。 |
| 他室との関係 | - |
| 建築設備要件 | - |

| | |
|------------|--|
| 機械室 | |
| 用途 | 機械室 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各仕上りは騒音や振動等の影響が及びにくいものとする。 ・ 機器の交換が容易に行える計画とすること。 |
| 他室との関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 ・ 機器の一部を屋外に設けることは差し支えない。 ・ 屋外に設置する場合には耐候性、耐塩害に優れた構造とすること。 |
| 建築設備要件 | ・ 更新用スペースやメンテナンスを考慮した配置とすること。 |

| | |
|------------|------------------------------|
| 電気室 | |
| 用途 | 電気室 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | ・ 各仕上りは騒音や振動等の影響が及びにくいものとする。 |

| | |
|--------|---|
| | と。 ・機器の交換が容易に行える計画とすること。将来の増設スペースを適切に見込むこと。 |
| 他室との関係 | ・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 ・機能の一部を屋外に設けることは差し支えない。 ・屋外に設置する場合には、SUS製等の耐候性及び耐塩害に優れた構造とすること。液状化に配慮した設置計画とすること。 |
| 建築設備要件 | ・更新用スペースやメンテナンスを考慮した配置とすること。 |

| 駐輪場 | |
|--------|--------------------------------------|
| 用途 | 駐輪場 |
| 規模 | 提案による |
| 設置数 | 提案による |
| 諸室仕様 | ・外部に設ける。別棟としてもよい。 ・その他の仕様は別紙4による。 |
| 他室との関係 | － |
| 建築設備要件 | － |

| ■ 共用部分の整備水準 | |
|-------------|---|
| 全般 | ・床仕上げは、音が響きにくく掃除がしやすい床材を採用すること。 ・壁は掃除がしやすく、明るい色彩で、粘着テープ等のはがしがしやすい壁材を採用すること。 ・一部の天井付近には、多少重量のある絵画作品等も展示できるような、ピクチャーレール等の器具を適宜設置すること。 |